

対象地域：岩手県



事務局：久保川イーハートープ自然再生研究所
対象地域：岩手県一関市
(一関市久保川流域の羽根橋から上流の立石地域)

設立日：H21.5.16
全体構想作成日：H21.5.16
実施計画作成日：H21.5.16 (ため池)
H22.5.16 (広葉樹林)
H28.3.25 (耕作放棄地)
(R4.3 現在)



地域に約 600 個点在するため池

関連ホームページ くばかわ里山日記：<http://blog.livedoor.jp/kubokawablog/>

対象地域：群馬県



事務局：群馬県土整備部館林土木事務所
対象地域：群馬県館林市、邑楽町
(館林市と邑楽町にまたがる約 80ha の多々良沼と館林市の約 50ha の城沼とその周辺地域)

設立日：H22.4.10
全体構想作成日：H23.5.13
実施計画作成日：H26.1.26
(R4.3 現在)



多々良沼のタタラカンガレイ

関連ホームページ 群馬県ホームページ：<http://www.kendoseibi.pref.gunma.jp/chiiki/tatebayashi/tatarajou/>

再生課題：水辺及び里地里山の保全再生

久保川イーハートープ自然再生協議会

再生目標

里地里山における侵略的外来種の防除、棚田や雑木林などの手入れを通じて生物多様性を保全し、その重要性を広く発信して地域内外の交流の活性化を目指す。



当該地域は戦後の拡大造林や土地改良事業による水田整備などを免れてきた所です。しかし近年、水田の乾田化や化学肥料・農薬の使用、侵略的外来種などの影響により、ため池を中心には在来の水生生物が減少し、管理放棄された樹林では間伐や下草刈りが行われず、林床の植生が貧弱化しています。

そこで本協議会では、当該地域に残された生物多様性やそれを支える人の営みを適切に評価するとともに、生物多様性を脅かしている要因については、保全生態学を基礎とした科学的なモニタリングと検討にもとづき、ていねいに取り除くことで、積極的に生物多様性を再生し、恵み豊かな里地里山の自然を次世代に引き継ぐことを目標に自然再生に取り組んでいます。

ここに注目！

里地里山の生態系ネットワークの復元

ため池を中心とする水田やあぜ斜面湿地等の良質な水辺環境が残存しているため、この水辺環境を取り巻く河川、草地、林縁、落葉広葉樹林においても自然再生を実践し、里地里山全体における生態系ネットワークの復元に努めています。



蘇ったニッコウキスゲ



企業参加のビオトープ造成作業

自然再生の手法

- ▶ 生物相のモニタリング調査
- ▶ 侵略的外来種の防除、耕作放置地の手入れ・ビオトープ造成など
- ▶ 調査や防除の結果より手法を模索
- ▶ 環境教育を通じた地域内外の交流

再生課題：人と沼の絆の創造と再生

多々良沼・城沼自然再生協議会

再生目標

「人と沼の絆の創造と再生」をスローガンに、過去の環境の再生をイメージし、「21世紀にふさわしい沼本来の姿」を目指す。



本地域の邑楽・館林地域は、低地の湿原が数多く残存し、湖沼やヨシ原等を中心に、地域特有の生態系を維持してきました。

しかし、近年の開発等により、水鳥の飛来種の単純化や、ブラックバスなど外来魚による被害増加、水生植物群落の変化、水質の悪化などが問題となっており、県や市・町、地域の様々な市民団体等は、これらの課題に対応すべく取り組みを進めてきました。

これらの活動を更に促進し、有機的に結びつけ、真に実効性のあるものに進化させるために、協議会を設立し、豊かな自然を保全・再生・創出・維持管理していくためにはどういった取り組みが必要なのかを関係者全員で考え、共に実践していきます。

ここに注目！ 生物多様性の保全と人々との関わりの創出

生物多様性の構築及び水質浄化の促進のために、毎年3月頃にヨシ焼きを実施しています。ヨシ原の害虫駆除や植物の芽生え等を促すだけでなく、地域の風物詩にもなっており、実施日は撮影や見物のため多くの来園者が訪れています。

自然再生の手法

- ▶ 沼本来の姿を保全・再生する
- ▶ 新たなる人々との関わりを創出する
- ▶ 地域に生きる証と誇りを、後世に引き継ぐ



多々良沼のヨシ焼き



城沼のハス群落